

4. 民間との協働 NPO法人上士幌コンシェルジュ



受賞したNPO法人上士幌コンシェルジュ



新しい公共
人口減少や高齢化など地域社会を取り巻く環境が変化する中で、行政だけで課題の解決を図ることは難しく、NPOや企業など官民協働でまちづくりを取り組む必要から、町ではNPOの育成や事業委託を実施してきた。ふるさと大賞受賞したNPOもその一環として設立され、移住定住等での活動が評価されたもの

ふるさと納税 生涯活躍いきがい基金を創設

平成29年5月26日 上士幌町議会で可決

地方創生 生涯活躍のまち かみしほろ 健康寿命の延伸

地域包括ケアの充実

医療・介護・生活支援・
住宅・予防・健康

生涯現役人材 センター

生涯学習 かみしほろ塾

田舎暮らし・ アクティブシニア・ 移住定住



(株)生涯活躍のまち かみしほろ 設立

出資者:上士幌町・JA上士幌町・上士幌町商工会・社会福祉協議会・
上士幌福寿協会・社会医療法人 北斗・上士幌コンシェルジュ・
十勝毎日新聞社・北洋銀行・北海道銀行・帯広信用金庫・
十勝信用組合・(株)コミュニティネット

平成27年 園児102人でスタート 30年9月180人、令和1年中に200人越えも

平成26年に「ふるさと納税少子化対策夢基金条例」を創設

認定こども園を10年間完全無料化!



認定こども園 元気に遊ぶ園児



松山内閣府少子化対策特命大臣視察

世代間交流と学習機能の統合した生涯活躍の場の拠点施設
平成29年度北海道赤レンガ建築賞 上士幌町生涯学習センター「わか」受賞

5. 誰でもが活躍できる地域社会をつくる



年間最大10,000ポイント
(1ポイント1円相当)

生涯活躍 上士幌町 健康ポイント事業

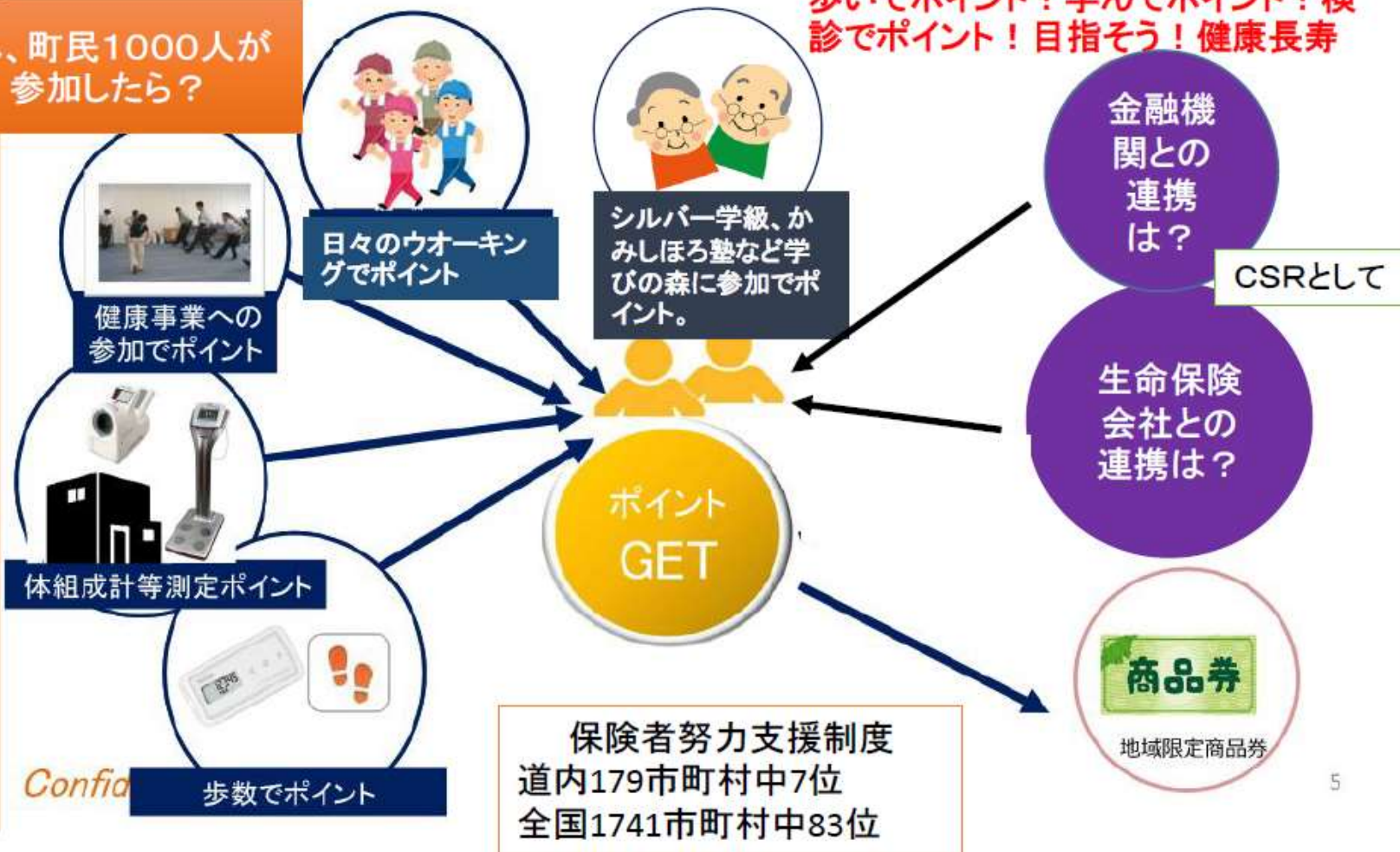
ポイントの設定案

- ・ 歩数に応じたポイントの他、健康機器（体組成計）の利用にポイントを付与します
- ・ 健康事業、スポーツ行事への参加にポイントを付与し、事業への参加を誘引します
- ・ 健康づくりに無関心な方や健康状態の改善が必要とされる方でも参加したくなるような幅広いポイント交換先の設定が可能です

もし、町民1000人が
参加したら？

歩いてポイント！学んでポイント！検診でポイント！目指そう！健康長寿

生活習慣病対策自治体に
手厚く支援



5. 誰でもが活躍できる地域社会をつくる

人生100年時代、Society5.0・スマート社会を展望して

人間社会の歴史

Society5.0 (ソサエティ5.0)

(狩猟社会1.0 → 農耕社会2.0 → 工業社会3.0 → 情報社会4.0に続く社会)

スマート社会

第4次産業革命

AI(人工知能)・ロボット・ICT(情報通信技術)等の急速な技術革新で
これらをベースにした新たな産業社会。

上士幌町の備え

- ・ **食料自給率2000%、再生可能エネルギー1000%**(バイオマス・水力・太陽光含む)は、持続可能なまちの発展にとって大きな武器。(SDGs先進町)
- ・ **AI・IOT・ICT技術**の発展による「**第4次産業革命**」や**スマート社会**への布石

地方創生を加速させるための 2大インフラ整備

1

- ・地方のすみずみまで
行き届いた
公共交通ネットワークの整備
- ・安全・安心で快適な
道路環境の整備



▲平成30年完成予定の『上士幌町交通ターミナル』

2

- ・農山村などの人口密度の低い
地域においても、都市と同様の
高速情報通信の整備



Society5.0の実現に向けた技術の活用

- Society5.0の実現に向けた技術の活用を、強力に推進。
- 支援窓口を内閣官房に設置し、関係省庁が連携して推進。

Society5.0の実現に向けた技術(未来技術)の地方における実装イメージ

自動運転×AIヘルスケア ⇒ 住民生活の質の向上

課題
解決

自動運転車を活用した地域交通の多様化やAIを活用した住民イベントによる外出誘因を通じた、**生活の利便性向上・ヘルスケア推進**。

無人電動カート活用による 新交通システム構築



AIを活用した住民主体の ヘルスケア推進



スマート農業×ドローン物流 ⇒ 産業等の生産性向上

ロボットトラクタによる農作業の自動化・効率化、ドローンによる生活物資等の自動配送等を通じた**地方の労働力不足に対応した地域経済の活性化**。

ロボットトラクタによる 農作業の自動化・効率化



ドローン配送による 物流効率化・住民の利便性の向上



未来
技術

支援窓口を創設し、地方公共団体・関係省庁間の連携を強化

5G基盤活用の最大化

未来技術活用の基盤となる5G基地局の整備の支援や光ファイバ等の整備促進を実施 等

支援窓口

①地方公共団体への
ハンズオン支援

②関係省庁間の政策連携

デジタル人材の育成・確保

情報通信関連の事業者やメーカー職員等を活用した技術専門家等を地方公共団体に派遣する「ふるさと応援人材派遣制度(仮称)」の創設、地域情報化アドバイザー制度の推進 等

データの利活用

RESASの活用促進、観光・イベント情報など静的データや混雑情報など動的データの迅速な提供を推進 等

地方における実装支援

全国的なモデルとなり得る新たな社会システムづくりにチャレンジする取組について、地方創生推進交付金による新たな支援の仕組みを検討、首長等向けに活用事例集を送付し周知啓発 等

地域経営の視点で取り組むまちづくり

スマートシティ

- AI、IoTなどの新技術や官民データの活用により、都市・地域課題の解決を図るスマートシティの取組について、モデル事業の実施や、官民連携のプラットフォーム構築等により推進。

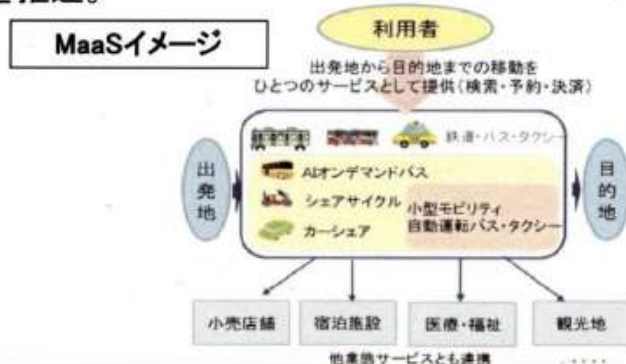
<スマートシティの概念>

様々なデータを収集・見える化



MaaS

- 交通事業者間のデータ連携に関するルール整備や、シームレス化に必要な交通結節点整備等により、MaaSなどの新たなモビリティサービスのモデル構築や社会実装を推進。
※MaaS…Mobility as a Service の略



居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり

- まちなかの歩行者空間の創出や都市空間の官民ボーダーレス化(※)の推進等により、まちなかに、ひとが集まる動機と居心地の良さがあり、歩きたくなるひと中心の空間を創出し、イノベーションの創出や地域消費の活性化を図る。

※公共空間の民間利用、民有空間の公的機能発揮



公園を芝生や民間カフェ設置で再生(東京都豊島区)

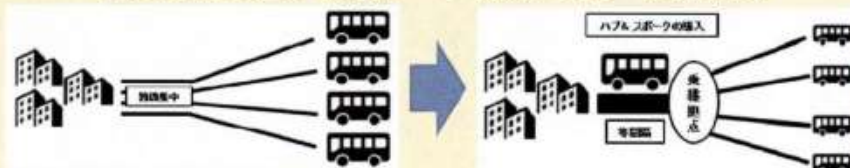


駅前の歩行者空間の創出(兵庫県姫路市)

地域交通を取り巻く課題への対応

- 地域の公共交通ネットワークの維持等のため、乗合バスなど交通事業者間の路線、運行間隔、運賃等についての連携・協働を円滑・柔軟に行うことができるよう、競争政策の見直しの観点から、具体的な仕組みを検討。
- 地域交通の維持・活性化に向けた取組を促進するための計画・支援制度等について、本年度中に制度改正等(※)に着手。
※地域公共交通活性化再生法の見直し等

【事業者間の連携・協働イメージ(路線ネットワークの再編)】



渋滞や運行の非効率性が発生

運行の効率化を実現

6. 地域経営の視点で取り組む

上士幌町情報通信基盤整備調査事業
光ファイバー整備エリア「農村・糠平」
受託社 NTT東日本 2019年事業



市街地区・農村地区・ぬかびら源泉郷
全域に光回線を整備

2019・待望の光回線が全町整備！

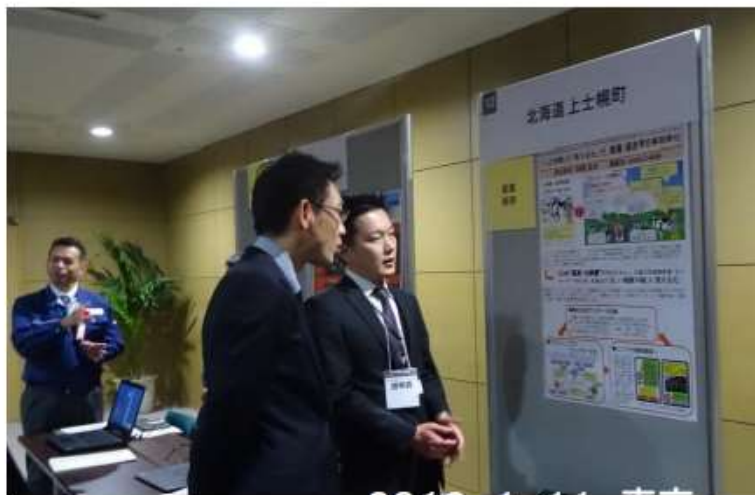
- 2. 新しい時代の流れをつくる
5Gでスマート農業
- 6. 地域経営の視点で取り組む
自動運手バス実証実験
MaaS(新しいモビリティサービス)

地方発の5G (次世代移動通信) の利活用アイデアを募集します

例：2030年ごろ…5Gを防災に使ったイメージ



- 上士幌町は酪農・畜産の町として、5Gの超高速、大容量の特性を生かして家畜の疾病や発情等を瞬時に把握して農業経営に活かすアイデアを提案。
- 全国、700を超える提案の中から選ばれ、パネル展示で紹介した。



ドローンで遭難者発見



自動運転バス

新しいモビリティサービスの 社会実装に取り組む パイロット地域募集について

「パイロット地域分析事業」

平成31年度高度な自動走行システムの社会実装に向けた研究開発・実証事業
(自動走行の実現に向けたモビリティサービスの社会実装事業に関する事業性調査)
の内数として実施



生涯活躍のまち上士幌 MaaSプロジェクト

経産省事業 全国8地域採択 北海道は上士幌町

利用者



6. 地域経営の視点で取り組む 自動運手バス実証実験 MaaS(新しいモビリティサービス)



自動運転の実証実験車両に乗り、手を振る上村実行委員長(左)ら(14日午前10時10分ごろ、塩原真撮影)

生涯活躍のまち上士幌 MaaSプロジェクト

【実証実験②】自動運転移動販売車による経済活性化及び効率化への効果検証



中心市街地まで買い物に行けない人たちも、その場で
キャッシュレスで気軽に買い物ができるように。

5G総合実証試験：畜産への応用 案件について

5G利活用アイデアコンテスト応募案件「人工知能」と「見える化」で、酪農・畜産を効率化を、「2019年度 総務省 5G総合実証試験」の一環として実施させていただきたく、ご協力の程よろしくお願いたします。

本試験では「見える化」部分の実現に向けた実証に取り組みます。

1. 応用分野： ワークプレイス
2. 協力者： 上士幌町、宮崎大学
3. 実施場所： 北海道上士幌町
4. 周波数： 27.5GHz - 29.5GHz
5. 試験内容： 牛舎内の牛の耳票を高精細映像で読み取り、位置を把握する。

位置が不明になるため、場所把握に大きな時間をかけている

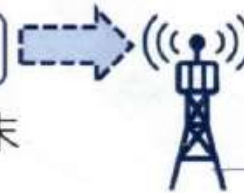


耳標の読取

高精細
動画



5G端末

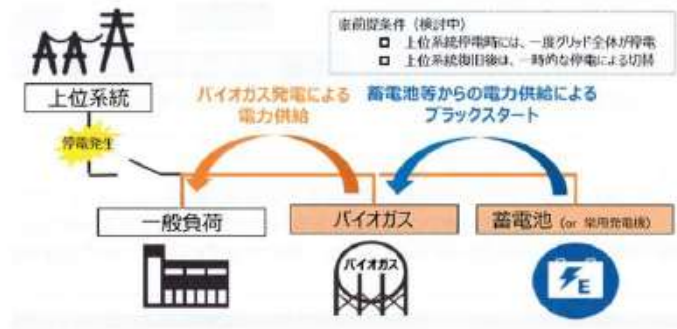


状態把握



映像解析

交付決定通知 2019・6・10



- 2. 新しい時代の流れをつくる
 - 5. 誰でもが活躍できる地域社会をつくる
 - 6. 地域経営の視点で取り組む
- MaaS(新しいモビリティサービス)

Hokkaido Tokachi Kamishihoro Community College

生涯活躍 **かみしほろ塾** 地方創生

2019 [総合講座]

地方は 知的刺激の 発信拠点だ

総合テーマ **新たな自分探しとふるさと再発見**

■会場: 上士幌町山村開発センター(北海道河東郡上士幌町字上士幌東3線238番地)
 ■受講料: 1日/500円(税込) 全日程/2,000円(税込)

主催: 上士幌町 後援: 北海道・北海道町村会
 協賛: 上士幌町商工会、上士幌町農業協同組合、社会福祉法人上士幌町社会福祉協議会、社会福祉法人上士幌福祉協会、社会福祉法人上士幌、特設非常勤活動法人上士幌コンシェルジュ、株式会社十勝毎日新聞社、株式会社北海道銀行、株式会社北洋銀行、豊田信用金庫、十勝信用組合

【定員】 各日200名

第2期 10月5日～6日

第11期
 テーマ「地方で未来を語ろう」

日	時	演題(予定)	講師(予定)	所属等
10月5日(土)	10:15-11:35	下町ロケットを超えた農業の現状とスマート農業の展望	野口 伸 氏	北海道大学大学院 農学研究院教授
	13:00-14:20	5G時代のまちづくりと未来の生活	伊本貴士 氏	メディアスケッチ㈱ 代表取締役
	14:30-15:50	十勝から宇宙へ! 宇宙の挑戦、宇宙産業の発展	稲川貴大 氏	インターステラテクノロジーズ㈱ 代表取締役
	10:15-11:35	新時代 スマートな田舎を目指して～上士幌町の挑戦～	佐治友基 氏 ほか	SB ドライブ㈱代表取締役
10月6日(日)	13:00-14:20	これからの10年で地方は日本のフロンティアに～変貌する日本の地方～	太田直樹 氏 (打診中)	元総務大臣補佐官
	14:30-15:50	5,300人の町から「世界の神山町」への仕掛け人～テレワークと地方創生～	大南信也 氏	NPO 法人グリーンパレ 一理事

地域再生の「フロントランナー」
 北海道・上士幌町のまちづくり

5年前には消滅可能性都市の1つだったはずが……
 我々の予想を大きく「裏切ってくれた」

増田真也(元総務大臣、前首相補佐官)

鈴木北海道知事

amazon.co.jp

「ふるさと創生—北海道・上士幌町のキセキ」
 黒井克行 著
 定価: 本体価格 1,300円 + 税
 四六判並製 224ページ

* 自動運転バス試乗会・山岳救助ロボコン開催

地方創生2019 国採択の先進的プロジェクト
停電のしないまちを目指して マスタープラン作成
超高速通信「5G」を活用した畜産振興の実証実験
新しいモビリティサービス、Maas等の実証実験

「ない」ことも「産業廃棄物」も武器に
すぎがない。スギ花粉リトリートツアー
産業廃棄物コンクリートアーチ橋が観光資源に
家畜排せつ物でエネルギー自給率100%

—20℃、北部戦線なにもなし。
聞いて下さい、吉幾三さま!!
今や“なにもない”は武器なんです!?